

Louis

Digital Clip on Tuner LCT-Z

取扱説明書 / 保証書

この度は LCT-Z クリップチューナーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みいただいた上、大切に保管してください。

保証規定（必ずお読み下さい）

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するものです。

保証期間内に本製品に製造上の不備による故障が生じた場合、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期限はお買い上げ日より 1 年間です。

2. 次の修理などは保証期間中であっても有償修理となります。

- ・ 消耗品（電池など）の交換。
- ・ お取り扱い方法が不適切なために生じた故障。
- ・ 天災（火災、浸水など）によって生じた故障または損傷。
- ・ 保証書にお買い上げ日、販売店が未記入の場合、または字句が書き換えられている場合。
- ・ 本保証書の提示が無い場合。

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

お願い

- ・ 保証書に販売年月日などの記入が無い場合は無効となります。
- ・ 記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書などと一緒に保管してください。
- ・ 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

島村楽器株式会社

商品開発事業部
〒132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3

② 電池のセットアップ

ご購入時は電池が挿入されておりませんので、付属の電池を下記の要領で取り付けてからお使い下さい。

- 1) 図の様に電池カバーをスライドさせて外して下さい。
- 2) 付属の電池を取り出し、+（プラス）と記載されている面を上にして挿入して下さい。
- 3) 電池カバーをサイドの溝に合わせてから元の位置までスライドさせて固定して下さい。

スライドさせる ←



③ 電池残量表示について

ディスプレイ内に電池残量目安が表示されます。

- 電池が新品またはそれに近い状態です。
- 電池残量が十分あります。
- 電池残量が半分以下になりました。交換用の電池をご用意下さい。
- 電池残量がほとんどありません。早めに電池を交換して下さい。
- 《点滅状態》すぐに電池を交換して下さい。

電池残量が少なくなると、ディスプレイが暗くなったり、正常なチューニングができなくなったりするなどの不具合が生じることがあります。ご使用中に電池残量マークが の表示になった場合は、新しい電池（CR2032）に交換して下さい。

なお、付属の電池は動作確認用ですので、電池残量マークが の表示にならない場合もございます。

安全上のご注意（火災、感電、人身傷害の危険を防止するために以下の指示を守ってください）

⚠ 警告

この注意事項を無視した取扱をすると、重大な事故を引き起こす可能性が予測されます。

- 次のような場合には直ちに電源を切ってください。
 - ・ 異物が内部に入ったとき。
 - ・ 製品に異音や故障が生じたとき。
- 修理が必要な時は、お買い上げの販売店、最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- 本製品に異物（熱しやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する器具の上など）での使用や保管をしない。
- 振動の多い場所での使用や保管をしない。
- ほこりの多い場所での使用や保管をしない。
- 風呂場、シャワー室での使用や保管はしない。
- 雨天時の野外など湿度の高い場所での使用や保管はしない。
- 本製品の近くに液体の入ったもの（水や薬品など）を置かない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

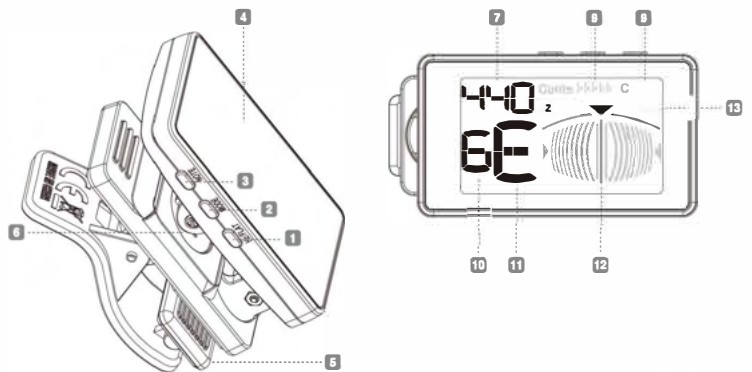
⚠ 注意

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビなどに接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。
- 外装のお手入れは乾いた布を使って軽く拭く。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管する。
- スイッチやツマミに必要以上の力を加えないでください。故障の原因になります。
- 外装のお手入れにベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド、研磨性のポリッシャーは使用しない。
- 不安定な場所に置かない。
- 楽器本体や塗装を痛める危険性があるため、使用しないときは楽器から取り外して下さい。

仕様

音律 : 12 平均律 測定範囲 : A0 (27.5Hz) ~ C8 (4186Hz)
 キャリブレーション範囲 : A4=430 ~ 450Hz (1Hz ステップ)
 測定精度 : ± 1cent 電源 : CR2032 コイン型リチウム電池
 電池寿命 : 連続約 15 時間 消費電流 : 最大 8mA
 外形寸法 : 60.4mm (W) X 44.35mm (D) X 32.11mm (H)
 質量 : 34g

① 各部の名称



- | | | | |
|-----------------|------------|------------------|-------------|
| 1 [Hz/FLAT] ボタン | 4 [ディスプレイ] | 7 [Hz/Cents 表示] | 10 [弦表示] |
| 2 [MODE] ボタン | 5 [クリップ] | 8 [フラットチューニング表示] | 11 [音名表示] |
| 3 [NOTE] ボタン | 6 [電池カバー] | 9 [モード表示] | 12 [メーター] |
| | | | 13 [電池残量表示] |

④ ギターへの装着（電源の投入）

LCT-Z はクリップタイプチューナーですので、ギター、ベース、ウクレレの本体ヘッド部分などに挟んで使用します。クリップ部分を指でつまんで開き、図のようにヘッドの任意の位置に取り付けて下さい。

ギター等に取り付けるとクリップ部分のセンサーが反応して電源が入ります（クリップ部分にギターを挟まないで使用できませんのでご注意ください）。

ディスプレイ部分をひねって表示の上下が正しく見えるように調整します。

注意：各可動部分には無理な力を加えないでください。故障などの原因になることがあります。

楽器を演奏せずに（音を出さずに）5 分以上経つと自動的に電源が切れます。再度電源を投入したい場合はクリップをつまんで挟み直して下さい。

注意：楽器の塗装をいためる恐れがありますので、使用しないときは必ず楽器から取り外して下さい。

⑤ 基準ピッチの設定

基準ピッチ A=440Hz を 430Hz ~ 450Hz の間で変更することができます。※特に設定の必要が無い方は ⑥チューニングモード の項にお進みください。

基準ピッチを変更するには 1 [Hz/FLAT] ボタンを 2 秒以上長押しします。ディスプレイ内の基準ピッチ表示が点滅しますので、点滅中に再度 1 [Hz/FLAT] を押しと 1 回押しごとに下記の様に切り替わります。

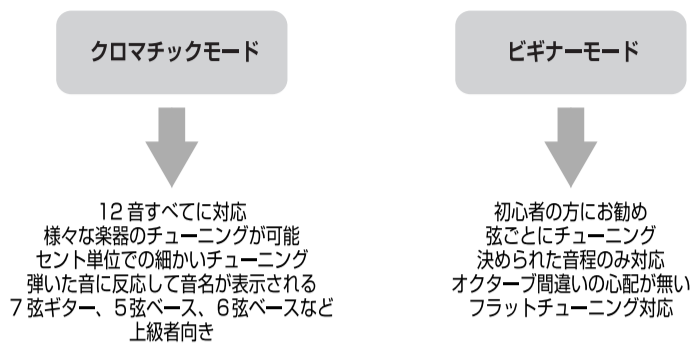


お好みのピッチに設定したらそのまま 3 秒以上待つと再度 1 [Hz/FLAT] ボタンを 2 秒以上長押しすると点滅が止まり確定されます。

購入時初期設定は A=440Hz に設定されています。

⑥ チューニングモードの選択

LCT-Z は様々な楽器をチューニング可能な**クロマチックモード**と、初心者の方が**ギター / ベース / ウクレレ**のチューニングをするのに最適な **ビギナーモード**を搭載しています。②【MODE】 ボタンを押すと**C(クロマチックモード) / G(ギタービギナーモード) / B(ベースビギナーモード) / U(ウクレレビギナーモード)**の各モードが順に切り替わり、現在選択されている**モード (C/G/B/U)** がモード表示部に表示されますので、お好みのモードを選択して下さい。※購入時は**クロマチックモード**に設定されています。



クロマチックモードは弾いた音に一番近い音を音名表示部に表示してチューニングすることができます。**C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、B**の12音をすべてチューニングすることが可能です。
→⑦クロマチックモードでのチューニング の項へ

ビギナーモードは弦の番号を切り替えながら1弦ずつチューニングを行います。弦に対してオクターブの違いまで検知しますので、締めすぎて弦を切ってしまう、オクターブ下でチューニングしてしまうといったトラブルを防ぎ、初心者の方でも安心してチューニングができます。なお、**変則チューニング**や**5弦/6弦ベースのチューニング**を行う場合、**カポタストのご使用時**などには、**クロマチックモード**をお使い下さい。

ギター / ベース / ウクレレの各ビギナーモードを使用した場合は、下記の様にチューニングされます。
→⑧ビギナーモードでのチューニング の項へ

ギタービギナーモード	ベースビギナーモード	ウクレレビギナーモード
1弦: ミ (E)	1弦: ソ (G)	1弦: ラ (A)
2弦: シ (B)	2弦: レ (D)	2弦: ミ (E)
3弦: ソ (G)	3弦: ラ (A)	3弦: ド (C)
4弦: レ (D)	4弦: ミ (E)	4弦: ソ (G)
5弦: ラ (A)		
6弦: ミ (E)		

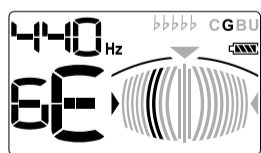
⑧ ビギナーモードでのチューニング

②【MODE】 ボタンを押してディスプレイのモード表示部に **G (ギタービギナーモード) / B (ベースビギナーモード) / U (ウクレレビギナーモード)** のいずれかを表示させます。使用するモード以外が表示されているときは ②【MODE】 ボタンを1回または数回押して下さい。

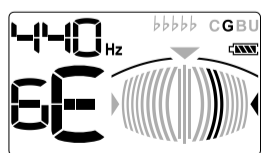
③【NOTE】 ボタンを押してチューニングしたい弦を選択します。例えばギターの6弦をチューニングする場合にはディスプレイの ⑩【弦表示】 部に **6** を表示させて下さい。③【NOTE】 ボタンは一回押すごとに下記のように切り替わります。



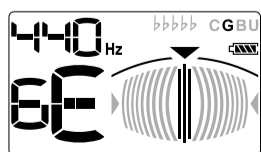
該当の弦を単音で鳴らします。(このときに他の弦の音が鳴らないように注意して下さい)
ディスプレイのメーター部を見ながら下記の要領でチューニングします。



メーターが左に振れている場合
弦の音程が低いです。メーターが中央に来るようにゆっくりとペグを締めて下さい。



メーターが右に振れている場合
弦の音程が高いです。ゆっくりとペグを緩めてメーターを左に振れるようにしてから、メーターが中央に来るようにゆっくりとペグを締めて下さい。



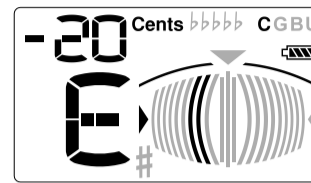
メーターが中央を差し、ディスプレイ全体がグリーンに変化した場合
チューニングが合いました。

チューニングが終了したら ③【NOTE】 ボタンを押して次の弦に合わせます。
以下すべての弦で同様にチューニングを行います。

⑦ クロマチックモードでのチューニング

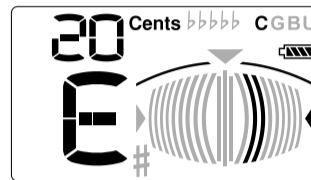
②【MODE】 ボタンを押してディスプレイのモード表示部に **C** を表示させます。**G/B/U** が表示されているときは ②【MODE】 ボタンを1回または数回押して **C** を表示させて下さい。

チューニングしたい弦を単音で鳴らします。
鳴らした音に反応してディスプレイの音名表示部に一番近いピッチの音名が表示され ⑦【Hz/Cents表示】 部が **440** などの基準ピッチから **Cents** 表示に切り替わります。
合わせたい音名が表示されるまでペグを締め / 緩めます。
合わせたい音名が表示されたら (例えばギターの6弦なら **E**) ディスプレイのメーター部を見ながら下記の要領でチューニングします。



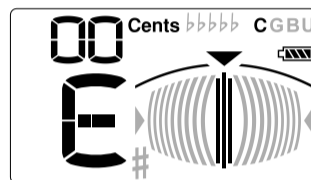
メーターが左に振れている場合

音程が低いです。メーターが中央に来るようにゆっくりとペグを締めて下さい。



メーターが右に振れている場合

音程が高いです。ゆっくりとペグを緩めてメーターを左に振れるようにしてから、メーターが中央に来るようにゆっくりとペグを締めて下さい。



メーターが中央を差し、ディスプレイ全体がグリーンに変化した場合

チューニングが合いました。

※アルファベットが同じでも右下に **#** が表示されているときは半音上ですのでご注意ください。

以上を繰り返して各弦のチューニングを行って下さい。

※**クロマチックモード**ではチューニングのズレを Cent (セント) という値で表示します (半音が 100 Cent)。本製品では 1Cent 単位の微妙なチューニングが可能です。なお、±2 セント以内になった場合にディスプレイ全体が緑色に変化、楽器の音程が表示されている音程に合ったことを示します。

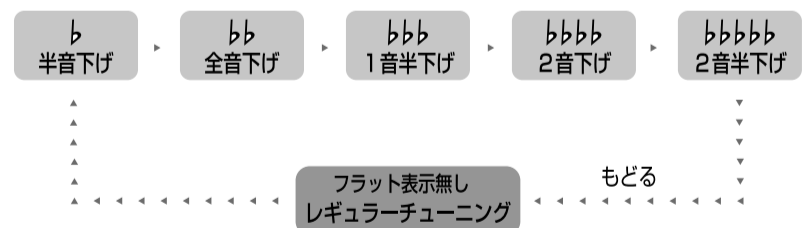
⑨ ギター / ベース / ウクレレ チューニングのコツ

- 音程が高いとき、一度目的の「音程より低くなるまでペグを緩め」その後改めて「ペグを締めて目的の音程まで合わせる」ようにするとチューニングがスムーズです。
- 6弦～1弦 (4弦～1弦) の順番にチューニングをするとスムーズです。
- 一度チューニングを行ったら再び6弦 (4弦) に戻って1弦までチューニングを行います。これを2～3回くり返すとより正確なチューニングが可能です。

⑩ フラットチューニングについて

LCT-Z はダウンチューニングに対応した**フラットチューニング機能**を搭載しています。**フラットチューニング機能**は **G / B / U** モードのみ対応しています (クロマチックモードでは使用できません)。

G / B / U モード時に ①【Hz/FLAT】 を押すと、1回押すごとに 下記の様に切り替わり、ディスプレイ内を選択された **b** の数が表示されます。



フラット何個分の音程を下げるかが選択できたら、各モードのチューニング手順に従って各弦をチューニングして下さい。

⑪ チューナーの音名表示について

チューナーおよびギター等の弦楽器では一般的に知られるドレミなどの音名表示をアルファベットで表しています。ドレミ表記とアルファベット表記の関係は以下のようになります。

ド# C#	レ# D#	ファ# F#	ソ# G#	ラ# A#
ド C	レ D	ファ F	ソ G	ラ A
	ミ E			シ B